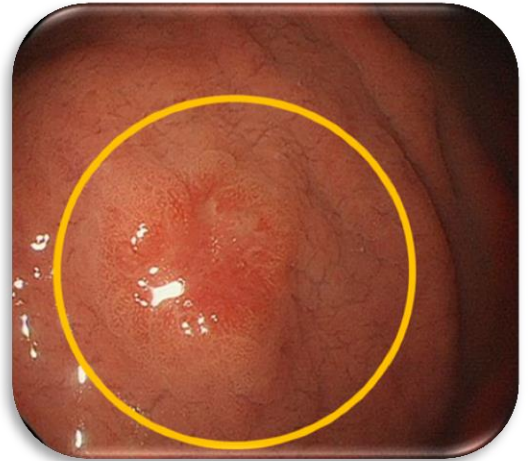


### 当院の“内視鏡治療”をご紹介します

## 早期胃がんと内視鏡治療

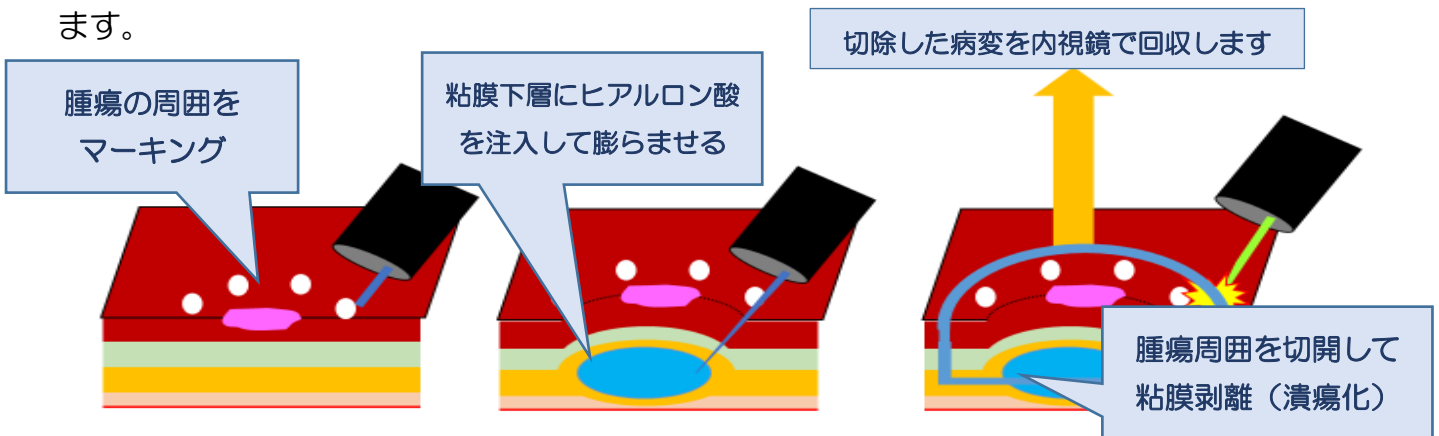
胃癌は未だに罹患率が高く、進行すれば治療も難しく、生存率も低下します。しかし、早期ならば治療後の5年生存率は**およそ95%以上と高いのが特徴です**。胃がんの早期発見、早期治療するためには、胃カメラなどの検診を受診する事が大切です。



## 治療：内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

### 消化器科：約1週間～10日間程の入院

早期胃癌が対象で、内視鏡を使用した治療方法です。最近では広範囲の切除が可能となりました。切除に2～3時間かかるので鎮静剤などを事前に投与して、病変部位を確認し切除範囲をマーキング後、ヒアルロン酸で膨らませた病変の周囲を切開しながら粘膜下層を剥離し病変を切除します。切除した部分は一時的に潰瘍化していますが、自然治癒していきます。




医師 紹介

診療科 消化器科

佐藤 智佳子 先生

米沢市立病院  
〒山形県米沢市相生町6番36号  
TEL：0238-22-2450  
地域医療連携室直通  
TEL：0238-22-2613  
FAX：0238-22-2624